

会 議 録

令和2年4月16日作成

審議会等名	令和元年度 第2回 社会教育委員会議及び公民館運営審議会		
公開の別	全 部 公 開		
開催日時	令和2年3月25日(水) 午後7時から9時まで		
開催場所	三条市中央公民館 3階 講義室	傍聴者	なし
		報道機関	なし
出席者氏名	委員 小林 斉子委員(議長) 内山 信一委員(副議長) (13人) 村田 洋子委員 倉品 章委員 佐藤 悟委員 鈴木千佳子委員 光田 雅孝委員 高橋 清委員 坂井 涼子委員 橘 孫三郎委員 木村富美夫委員 本田 寿之委員 近藤 雅哉委員		
	職員 恋塚生涯学習課長兼中央公民館長兼栄公民館長兼下田公民館長 (10人) 笹倉生涯学習課長補佐兼中央公民館長補佐兼嵐南公民館長兼三条東公民館長 二宮井栗公民館長 内山本成寺公民館長 山田大崎公民館長 田中大島公民館長 岡田生涯学習推進係長 中野一般任用主事 石原図書館長兼歴史民俗産業資料館長 嘉代諸橋轍次記念館長		
報告事項	下田公民館の優良公民館表彰について		
議 題	(1) 令和元年度生涯学習関連事業等の実績報告について		
	(2) 令和2年度の生涯学習事業等の計画(案)について		
	(3) 令和2年度の社会教育団体等補助金について		
	(4) 令和2年度第62回全国社会教育研究大会新潟大会について		
そ の 他	(1) 非常勤特別職の分館長、分館主事等の身分について		
	(2) 子どもの貧困の現状及び社会教育が関われることについて		
会議内容	別紙のとおり		

<p>小林議長</p>	<p>本日はお忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。これより令和元年度 第2回社会教育委員会議及び公民館運営審議会を開催いたします。</p> <p>それでは、最初に恋塚生涯学習課長から挨拶をお願いします 始めに、恋塚生涯学習課長が御挨拶を申し上げます。</p> <p><恋塚課長挨拶></p> <p>議事に入る前に、次第の2、「下田公民館の優良公民館表彰（優秀館）報告会」を行います。 事務局、説明願います。</p>
<p>恋塚課長</p>	<p>この度、文部科学省の優良公民館表彰において、下田公民館が、全国約 14,000 館の公民館の中から、70 の優良館に、さらにその5つの優秀館に選ばれました。優秀館に選ばれたのは、県内初でございます。</p> <p>この優良公民館表彰は、昭和 23 年から続く歴史ある表彰で、事業内容・方法等に工夫を凝らし、地域住民の学習活動に大きく貢献している公民館を文部科学省が表彰するものでございます。</p> <p>下田公民館が選ばれた主な理由は、講師や職員が各集落センターに出向き、講座を行う出張型きっかけの1歩事業が評価されたものでございます。</p> <p>これもひとえに社会教育委員・公民館運営審議会の委員の皆様方の御指導、御協力の賜物でございます。</p> <p>なお、こちらにございます、優秀館の賞状と記念盾につきましては、去る2月14日に、私と下田公民館の大久保職員が文部科学省で行われた表彰式に出席し、伝達されたものです。 報告は以上でございます。</p>
<p>小林議長</p>	<p>おめでとうございます。</p> <p>優秀館に選ばれたことは、私たち公民館運営審議会や公民館職員だけでなく、下田地域の住民の皆さんにとっても喜ばしいことだと思いますので、賞状と記念盾については、是非、下田公民館に飾ってもらい、下田地域の皆さんからも見てもらってください。</p> <p>それでは、議事に移りますが、その前に資料確認を事務局お願いします。</p>
<p>岡田係長</p>	<p><配布資料の確認></p> <p>①次第</p>

	<p>②座席表</p> <p>③委員名簿</p> <p>④資料No. 1 令和元年度の生涯学習事業等の実績について</p> <p>⑤資料No. 2 令和2年度の生涯学習事業等の計画（案）について</p> <p>⑥資料No. 3 令和2年度の社会教育団体等補助金について</p> <p>⑦資料No. 4 令和2年度第62回全国社会教育研究大会新潟大会について</p> <p>⑧資料No. 5 非常勤特別職の分館長、分館主事等の身分について</p>
小林議長	<p>それでは、議事に入ります。</p> <p>議題（1）令和元年度の生涯学習事業等の実績について、事務局から説明をお願いします。</p>
岡田係長	<生涯学習課、中央、嵐南、三条東、栄、下田公民館の説明>
二宮館長	<井栗公民館の説明>
内山館長	<本成寺公民館の説明>
山田館長	<大崎公民館の説明>
田中館長	<大島公民館の説明>
石原館長	<三条市立図書館の説明>
嘉代館長	<諸橋轍次記念館の説明>
小林議長	御意見・御質問等がございましたらお願いします。
村田委員	資料 No. 2を見ると、参加者がとても楽しそうです。せっかく公民館が頑張っているのですから、是非、公民館事業の実績を写真入りでホームページにも載せたほうがよいと思います。
岡田係長	御指摘のとおり、私どもとしましても、ホームページの充実は検討課題として捉えておりますので、市民が公民館に行ってみたくなる、講座に参加してみたくなるホームページとするために、今仰られたことを取り入れ、見直しを図ってまいりたいと思います。
村田委員	きっかけの1歩事業の実績として、男性の参加率、常連以外の方

<p>小林議長</p>	<p>の参加率、セカステ登録者数、セカステへのイベント補助等の発注件数、公民館イベント補助等を体験した人数を示されていますが、これがきっかけの1歩事業の目的である事業参加者のステージへのステップアップとどう結びついているのでしょうか。</p> <p>きっかけの1歩事業に「常連」という言葉が合うのでしょうか。公民館として常連というカテゴリーに入れるのがなじまないと思わないのでしょうか。あくまでもきっかけはきっかけで、それを経験した方がステージに上がっていくという事は理解できます。きっかけの1歩事業の参加者が常連になるということは、どういうことでしょうか。その辺の整理が公民館の中でできているのでしょうか。</p>
<p>岡田係長</p>	<p>きっかけの1歩事業の目的は、高齢者の外出機会の創出と、参加者が今度は教える側になるといった循環型生涯学習の推進という二つのものがあります。</p> <p>今仰られた常連以外の参加率の増加は、これまで公民館に来なかった方が公民館に来ていることを示しているので、高齢者の外出機会の創出につながっているのではないかと考えました。</p>
<p>小林議長</p>	<p>高齢者の外出機会の創出に向けた取組を続けていただくことは構いませんが、そもそも常連以外というのは、これまで公民館の事業に参画したことがない、あるいは公民館に来たことがないという、公民館に縁がなかった人であり、高齢者に限ったものではありません。今まで学ぼうという意欲があっても公民館に縁がなかった人が、きっかけの1歩事業を通じて公民館に来て学ぶようになることが生涯学習推進計画の一番の視点だったはずですが、その視点を忘れてただ、きっかけの1歩事業で外出を促すということだけになるのは違うのではないかと、というのが村田委員の御指摘だと思います。</p> <p>事務局は、今すぐに答えは求めませんので、次回、検討結果をお聞かせください。</p>
<p>小林議長</p>	<p>議題(2) 令和2年度の生涯学習事業等の計画(案)について、事務局から説明をお願いします。</p> <p><生涯学習課、中央、嵐南、三条東、栄、下田公民館の説明></p> <p><井栗公民館の説明></p>

	<p><本成寺公民館の説明></p> <p><大崎公民館の説明></p> <p><大島公民館の説明></p> <p><三条市立図書館の説明></p> <p><諸橋轍次記念館の説明></p>
小林議長	御意見・御質問等がございましたらお願いします。
村田委員	三条市立図書館の運営計画で説明のあった、調べる学習について、出前講座の開催で得られた成果などを発表するような計画はあるのでしょうか。もう一つ、高度教育機関との連携した新しい障がい者向けサービスの模索をするとありますが、どのようなことをお考えですか。
石原館長	調べ学習については、自ら疑問に思ったことを図書館に足を運んで調べ、テーマを決め、テーマに沿って調べるという、基本的なことを図書館を通じて、疑問に思ったことを解決に導くというノウハウを今年度は重点的に取り組むとしている課題です。また、読み書きが苦手な子供たちが非常に多いので、IT 機器（マルチメディアデバイス）を利用して、読書を推進していきたいと考えています。
村田委員	調べ学習のモデル校というのは、具体的に決まっているのですか。学校は忙しいので、勝手に決められると迷惑かなという空気もあるかと思いますが、いくつ選択するかといった具体的なことは決まっていますか。
小林議長	その前に、教育委員会に話は通していますか。
石原館長	それは、まだできておりません。時間の空いた総合教育の時間に、調べ学習の出前講座をしたい、あるいは図書館の方で調べ学習の講座を行っていききたいと考えています。
高橋委員	文化芸術の一番星育成事業の育成者の進路はどうですか。
岡田係長	桐朋学園大学など芸術系大学に進学されているほか、ショパン国際ピアノコンクール in A S I Aなどで入賞を果たした方もおられ

	<p>ます。もちろん途中で進路を変更される方はおられますが、育成者の中から希望する大学に進学しているという事実はこの事業の成果と捉えています。</p>
高橋委員	<p>どのくらいの割合で希望する道に進んでいるのですか。</p>
恋塚課長	<p>具体的な数字は今持ち合わせませんが、デッサン教室を受講した子どもはかなりの割合で希望するデザイン系、美術系大学に進んでいます。ピアノ教室についてはデッサン教室に比べると、そういった芸術系大学への進学の数はいくつか少ないです。補助金事業を受けた子どもについては、書道やダンスなど様々な文化芸術分野のコンクール等で入賞されています。</p>
佐藤委員	<p>大島公民館の果樹園で行う講座のように、他の公民館でも地域の特色を生かし、地域の人たちがもっと地域の公民館を意識し、接点を持てる講座はできないものではないでしょうか。公民館でやっている男の料理教室でも、自分たちで作った料理を酒の肴にして味わうという講座もあってよいのではと思いました。</p>
小林議長	<p>大島は分かりやすいですが、各地区公民館の間でどれだけ特徴があるかという点、そんなに地域差はないと思います。そうした中でも、本成寺公民館ではお寺での体験を講座に取り込み、大崎公民館では講座のサークル活動への移行を進めています。こうした地道な活動の中で地域の公民館らしさを出しているのは認める必要があります。佐藤委員が出された意見は重要な視点を含んでいるので、公民館には是非、それを受け止めて取り組んでいただきたいです。</p>
二宮館長	<p>井栗公民館では、地域の宝である文集を充実していくことと、きっかけの一步の中で出張聞き取りや俳句をやっていくことで、地域に根差した事業を開拓していきたいと考えています。</p>
村田委員	<p>きっかけの第4ステージにはどんな人が活動していますか。</p>
岡田係長	<p>将棋の対局指導ボランティア、映写会の機器の操作、包丁研ぎなど全公民館で34人が第4ステージとして活動されています。次回、公民館ごとに第4ステージの活動状況一覧をお示しします。</p>
光田委員	<p>三条市立図書館の運営計画で説明のあった、障がい者や高齢者サービスの充実とはどのようなものですか。</p>

石原館長	<p>マルチメディアデイジーとって、視覚に障害のある方、加齢などにより文字が見えにくい方、発達障害のある方など活字による読書が困難な方に対し、文字や音声、画像を同時に再生できるデジタル録音図書の活用を促進してまいります。</p>
橋委員	<p>下田の優良表彰を受けて、素晴らしいなと思いました。下田公民館の職員から直接お話を聞きましたが、嬉しそうに報告してくれました。たくさんの事業をやっている中で、現場の職員の苦労はとて大変なんだと思います。自分たちが一生懸命にやってきたことが評価されてよかったと思いますし、皆様の今後の御指導も含めてよろしくお願ひしたいなと思います。</p>
倉品委員	<p>是非、子どもや若者、高齢者が交流する講座をやってほしいと思います。</p>
小林議長	<p>議題（3）令和2年度社会教育団体等補助金について、事務局から説明をお願いします。</p>
岡田係長	<p>説明に入る前に、連絡事項がございます。</p> <p>社会教育法第13条（審議会等への諮問）で「地方公共団体が社会教育関係団体に対して補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、地方公共団体にあつては社会教育委員会議の意見を聴いて行わなければならない。」と規定されております。</p> <p>また、この会議に補助金を受ける団体から推薦を受けた委員が出席している場合は、地方自治法第117条（議長及び議員の除斥）の規定があることから、道義上の観点からこれに準じ、同様の措置を取る必要があります。</p> <p>よって、これから議題にあります令和2年度社会教育団体への補助金については、交付予定団体に三条市文化団体協会がございまして、同団体から推薦されておられる内山副議長からは恐れ入りますが、しばらくの間、退席していただきたいと存じますのでよろしくお願ひします。</p>
内山副議長	<p>今ほど、事務局から説明があつたとおりです。しばらく退席をさせていただきますのでよろしくお願ひします。</p>
岡田係長	<p><令和2年度社会教育団体等補助金についての説明></p>
小林議長	<p>御意見・御質問等がございましたらお願ひします。</p>

小林議長	文化団体協会の主な財源内訳と主な事業にある交流会費とは、どのような経費ですか。飲食の経費ですか。
岡田係長	経費の内訳の詳細は分かりませんが、交流会費は文化団体協会が参加者から徴収し、支出しているものですので、市補助金は充てられていません。
小林議長	<p>文化団体協会の収支を見ますと、事業費に対して会費と事業収入が足りていないことが分かります。つまり、市補助金がなければ活動が立ち行かないということです。</p> <p>しかし、昨今、文化団体協会加盟団体が公民館等を使用する場合の使用料の減免割合が3割から7割に拡大され、恩恵を受けているわけですが、文化団体協会として自ら収入を増やす努力はしているのでしょうか。</p>
岡田係長	<p>文化団体協会では、会員を増やすために、大人版のわくわく文化未来塾ともいえるべき、「おとな文化生涯塾」を発案し、市と共催で今年度中に開催しようとしています。</p> <p>これは、現役世代から高齢者までの成人が興味を持ちそうな、参加のハードルが低く、実用性や流行りを取り入れた内容とし、講師も既存の文化団体協会加盟団体だけではなく、ダンススクールやお花屋さんなど市内の民間企業に所属する方々から担っていただくことで、講座の魅力に磨きをかけ、文化の裾野を広げようと努力されています。</p>
小林議長	令和2年度の補助金は、この金額で執行することを了承しますが、おとな文化生涯塾や公民館等の使用料の減免拡大の影響を踏まえ、令和3年度に向けてよく精査してください。
岡田係長	<p>承知しました。</p> <p><内山副議長入室後、審議結果を報告></p>
小林議長	議題(4)令和2年度第62回全国社会教育研究大会新潟大会について、事務局から説明をお願いします。
岡田係長	<令和2年度第62回全国社会教育研究大会新潟大会についての説明>

小林議長	<p>御意見・御質問等がございましたらお願いします。</p> <p><意見なし></p> <p>その他 非常勤特別職の分館長、分館主事等の身分について、事務局から説明をお願いします。</p>
岡田係長	<p><非常勤特別職の分館長、分館主事等の身分について></p>
岡田係長	<p><子どもの貧困の現状及び社会教育が関われることについて></p> <p>昨年5月30日の第1回の審議会において、「子育て支援課と、子どもの貧困の現状及び社会教育が関われる部分について議論をして、その結果を報告すること」とされておりましたので、ご報告いたします。</p> <p>まず、子どもの貧困についてですが、子育て支援課によりますと、衣食住に事欠く「絶対的貧困」と、習い事や塾に通えないとか、携帯電話やパソコンが買えないといった「相対的貧困」の二種類があり、三条市では絶対的貧困の子どもはいないということでした。</p> <p>そのような絶対的貧困に陥る前に、生活保護やひとり親家庭支援などの福祉制度によって救済されるためです。</p> <p>相対的貧困については、親の所得格差や個々人の感じ方によるところが大きいため、行政として一律に実態を把握し、措置することは難しいところでございます。</p> <p>そうした中、私どもにできることは何かを考えたときに、やはり市内各地区に散らばる公民館のネットワークを通じて、支援が必要な子どもの情報を共有し、子育て支援課を始めしかるべき専門機関に相談する体制を取ることだと思いました。</p> <p>そこで、全公民館職員が集まる会議の場に子育て支援課の職員を呼び、支援が必要と思われる子どもが来た場合の対応についてレクチャーをしてもらいました。</p> <p>また、公民館を「子どもの居場所」として利用してもらえよう、空き部屋を学習室として開放したり、ロビーにフリースペースを設けるといったことは継続してまいりたいと思いますし、文化・芸術の一番星育成支援事業やわくわく文化未来塾といった、親の経済的な負担を軽減し、子どもたちが様々な文化的な活動に親しむことができる事業についても周知を図ってまいりたいと思います。</p> <p>以上でございます。</p>
小林議長	<p>子供の貧困については引き続き子育て支援課と連携して取り組んでいってください。</p>

	<p>本日、用意されました議題につきまして無事終了することができました。以上で本日の会議を終了いたします。</p>
--	---